

プロの技術に興奮！ 楽天イーグルスふれあいデー

10月6日、東北楽天ゴールデンイーグルスによる「楽天イーグルスふれあいデー」が荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた（県野球場）で開催されました。

普段野球に親しみがない方にも球場に足を運んでもらい、野球に親んでもらいたいという目的で開催されたこのイベントに、町内の小中学生など約80名が参加。球場内には、野球の基本である投球・打撃・守備の各コーナーのほか、チアリーダーの指導によるチアリーディング体験コーナーが設けられました。

投球・打撃・守備のコーナーでは、楽天イーグルスが主催する野球スクール・ソフトボールスクールのコーチが講師を務め、基本技術を指導しました。コーチは、全員が元プロ野球選手・ソフトボール選手。バッターボックスに立ち、コーチが投げるボールの速さを間近で体験する場面では、そのスピードと次々と繰り出される変化球に参加者は大興奮。球場には歓声が響き、イベントは盛り上がりを見せていました。



普段はあまり野球に親しみがないという女の子も、イベントを楽しんでいました。

戸籍の窓口 10月届出分

町立図書館「ほんわ館」 来館者数10万人達成！

町立図書館「ほんわ館」が、10月11日、来館者数10万人を達成しました。

10万人目の来館者となったのは高橋侑花さん（上町）。記念品として、大津町長からりんごジュースや果物ゼリー詰め合わせなど、町の特産物が贈呈されました。高橋さんは、「現在大学生です。ほんわ館は、学習スペースが別室になっているので、静かな環境で集中して勉強できるところがよいと思います。この建物がまだプールだったときによく通っていたということもあり、思い入れのある場所なので、10万人目の来館者になれたことを嬉しく思います」と話していました。

ほんわ館は、平成24年4月に開館。町では当初、年間3万人程度の来館を目標としていましたが、開館以来、多くの方にご利用いただき、開館から約1年半で来館者数10万人を達成することができました。



TOPICS ひまわり広場



まちのホットなニュースをお届けします！

皆さんの身近な情報や写真をお寄せください
総務企画課情報防災グループまで
電話662-4899

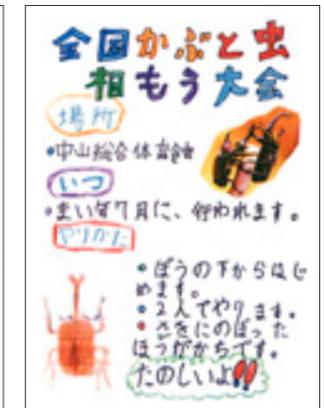
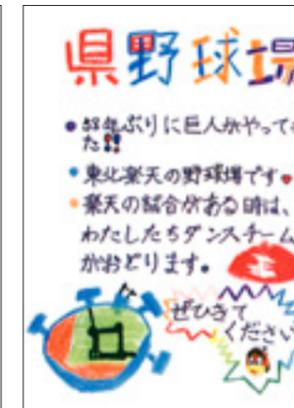
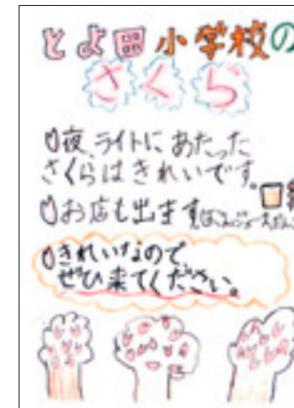
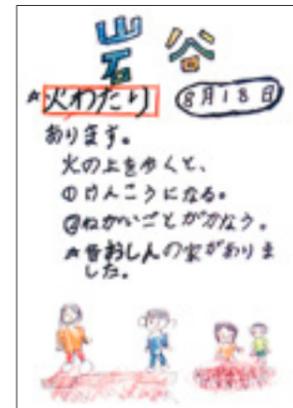
「中山町に来てください」手作りパンフレットで町をPR

9月26日、豊田小学校3年生の児童が山形駅構内でパンフレットを配布し、中山町のPR活動を行いました。配布したパンフレットは、総合の授業で作成したもの。見た人の印象に残るように、色使いやレイアウトも工夫したそうです。

工藤ももさん（岡）は、「知らない人に声をかけるのは緊張したけれど、中山町のいい所をたくさんの人に知ってもらえるように元気にPRしてきました」と話していました。パンフレットを受け取った観光客からは、「次回山形に来るときは、ぜひ中山町に行ってみよう」という声も聞かれ、手作りパンフレットでのPR活動は大成功に終わったようです。



山形駅構内



初の試み好評！ 町外イベントで芋棒煮の振舞い

10月13日、山形市で開催された最上義光公没後400年記念事業「よしあきフェスタ」に町観光協会が参加し、中山町が芋棒煮会発祥の地であることを広くPRしようと、「芋棒煮」を振舞いました。今回も、腕をふるってくれたのは町食生活改善推進協議会の皆さんです。

芋棒煮を町外のイベントで振舞うのは初めての試みですが、「ダシがしっかりしていておいしい」と大変好評だったようで、用意していた200杯があっという間に完食となりました。



山形市の市川昭男市長、加藤賢一市議会議員にも食べていただきました。